

# 支部だより

Internet 配信版

冬号 No. 58  
令和 2 年 1 月  
電気管理 山形県支部  
【 禁 複 写 】



# ～ 目 次 ～

新年のご挨拶	支部長 田中 均 …	1
令和元年度臨時総会・第3回支部研修会 報告	広報委員 栗田 浩二 …	2
令和元年度電気使用安全講習会 開催報告	酒田地区 本間 隆介 …	3
新会員のご挨拶		
「令和第1号正会員です。よろしくお願いします！」	山形地区 鈴木 敏明 …	4
「偶然の出会い」	鶴岡地区 板垣 清 …	5
たかし君の親愛なるレイチェルとの旅日記（国内編）		
「大人の休日倶楽部」第4回 鎌倉・水戸偕楽園への旅	酒田地区 本間 隆 …	7
元気のみなもと 『走る』	酒田地区 高橋 良 …	13
私のこだわり自慢 ～私のこだわり～	新庄地区 佐藤 信也 …	15
支部の主な動き	…	17

## 表紙のことば

鶴岡地区 会員番号 797 宅井 二郎

< 羽黒山の大鳥居 >

鶴岡市の羽黒山上り口に、参拝者を出迎えるように大鳥居があります。

90年ぶりに建て替える計画があり、取り壊される前に記憶に残そうと思い、大鳥居を桜と一緒に撮影しました。新しい大鳥居は一回り大きくなって、2018年11月に完成しましたが、以前より少し色合いが暗く感じます。

桜の木も植え替えたようですが、写真のような風景は当分先になりそうです。

# ～ 新年のご挨拶 ～

支部長 田中 均

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

昨年も災害の多い年でしたが、今年もまた、どこかで何かの大災害が起こるのではないかと心配しております。もし起こるとしたら、オリンピック・パラリンピックと重ならないことを願っております。

災害は次のものが考えられます。暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り、火災、落雷、等です。  
(これらの項目を自分の管理している事業場に当てはめて想像してみるのも一考ではないかと思えます。)

我々電気管理技術者はこれらの災害を予測し、災害に強い電気設備の構築を目指さなければなりません。お客様と日頃から話し合い、情報を共有することが理想だと思います。

私が気になっている一例として、老人介護施設などの発電機を、消防設備用だけに使っているのはもったいないと思えます。切り替え装置などは必要になりますが、停電時にはパソコンなどの電源を使えて、トイレの水くらいは出るようにするなど、提案をすることを推奨します。

他には、水害の起こりそうな所では地下や1階に変電設備を置かないこと、地震が起きても変圧器・コンデンサーが倒れないことなどです。

私は長く、地球の温暖化には懐疑的な見方をしてきました。地球の歴史 50 億年に対し、最近 200 年そこそこの出来事で何も変わるわけがないし、変えられないと思うのです。又、人間がいくら頑張っても何かをやっても大自然に勝てるわけがないということです。

よく地球をメロンに、月はピンポン玉で、太陽は 1.5 km 先にある直径 14m の気球に例える話があります。(ちなみに、電気は地球から太陽まで 8 分位かかるそうです。)

人間が実際に行動できる範囲は、多くみても

地下 1 km～地上 4 km の計 5 km 位なものです。地球を 13 cm のメロンに例えると、新聞紙の半分の厚さが 5 km になります。つまり人間が生活できる範囲は、地球のごく薄い膜の範囲内だけなのです。こんなに薄い膜であれば気温を 2℃位は上げられるかもしれません。世界情勢を見ると温暖化は避けることができません。温暖化による異常気象や災害は必ず増えるものと考えなければならないと思います。

さて、話は変わりますが、私は皆様に支えられて副支部長を 10 年間、支部長を 4 年間務めさせていただきました。昨年 11 月の臨時支部総会で、佐藤智さんにバトンタッチすることになり、感謝しております。

私は 6 つの目標を掲げて支部長を務めてまいりました。

- ① 会員の増強 (物件協力)
- ② 事故の防止対策
- ③ 技術の向上
- ④ 他団体との積極的な交流
- ⑤ 会員間の情報の共有
- ⑥ 会員の資質向上

であります。どの程度できたか心配ですが、今後は、IT を駆使した効率的な管理等が求められるのかもしれません。佐藤智次期支部長に期待したいと思います。いずれにしても、お客様との信頼関係をより確実なものとし、感謝されるような協会であってほしいものです。

電子申請については、予定よりもだいぶ遅れています。四国で最初に始まりそうです。東北では受ける側の役所の準備がまだ整っていないようですが、来年度には始まると思います。

支部会員の皆様には今年 1 年、元気で活躍することを期待し、ご家族の皆様共々健康で明るい年であることを願って、簡単ですが新年の挨拶にしたいと思います。

# 令和元年度 臨時総会

## 第3回支部研修会 報告

広報委員 栗田 浩二

開催日 : 令和元年 11月 26日～27日  
場所 : 天童温泉『あづま荘』(天童市)  
高齢者向け住宅  
YONEKI プレミアム(山形市)

### 【第1部 臨時総会】

支部の正会員 60人中、出席が 47人、委任状が 13人で、100%にて総会が成立し、議長には栗田晃一さんが選出されました。

令和 2・3 年度の支部の新役員には次の方々が選出されました。よろしくお願いいたします。

区分	役職名	役員名 (敬称略)
(新任)	本部理事	大場 吉裕
(新任)	支部長	佐藤 智
再任	副支部長	岸 勇一
(新任)	"	佐藤 喜由
(新任)	常任幹事 (本部総務委員)	片岡 廣
再任	" (本部技術安全委員)	東海林 建治
再任	" (本部広報委員)	栗田 浩二
(新任)	" (本部研修委員)	須貝 一彦
再任	" (支部会計)	千葉 吉春
再任	支部監事	皆川 幸夫
(新任)	"	菅原 俊一
(新任)	全友会担当	長沼 照幸
再任	事務局	片岡 廣
(新任)	ホームページ担当	本間 隆介



(新役員の皆さん)

### 【第2部 研修会】

- (1)新電力の紹介 … 東日本チエスコム(株)
- (2)高圧ケーブルについて  
… (株)フジクラ・ダイヤケーブル
- (3)地区持回り研修 … 鶴岡地区
- (2)東北電力(株)からの情報提供  
… 東北電力(株)山形支店

今回の「地区持回り研修」は、鶴岡地区の菅原俊一さんと前野芳太郎さんの、素晴らしい講演でした。



(前野さんの講演風景)

### 【第3部 懇親会】

千葉吉春さんの名司会で、大盛況でした

### 【第4部 (2日目) 施設見学会】

今回は山形市あかねヶ丘にある YONEKI プレミアムさんを、12名で訪問しました。

山形県で初めて ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) を取得された事業場です。エネルギー消費量が通常の半分以下というのが取得の条件で、ここでは 56%の省エネを実現しているとのこと。



(見学風景)

# 令和元年度電気使用安全講習会 開催報告

酒田地区 会員番号 825 本間 隆介

9/12(木)三川町の文化館なの花ホールで、電気使用安全講習会が行われました。今回は庄内地区が担当でしたので、酒田地区の地区幹事の私が幹事として担当させていただきました。

## 【講習会準備について】

講習会の準備を進めるにあたり、さまざまな問題に悩まされましたが、まず初めに問題になったのが、講習の内容についてでした。今回は私が幹事をさせていただきましたが、私の勉強不足で何を行えば良いのか全くわかりませんでした。まずは、前回この講習会を行った地区の方から資料をいただき、参考にさせていただきました。また、酒田地区の会員の方から集まっていたいただき、先輩会員の方々より貴重なご意見を頂戴しました。おかげさまで内容はすぐに決まりました。

次に問題になったのが、参加者の人数でした。今回の目標は会員も含めて70名でしたが、初めのうちは中々集まらずハラハラドキドキでした。結果、会員の方々の呼掛けのおかげもあり83名(うち会員13名)となり、なんとか目標数を上回ることができました。

## 【講習会当日】

準備も無事終わり、講習会当日を迎えました。会場準備もあるので、地区の会員の方からは早めに集合していただき、準備を行いました。

昼食をはさみ受付が始まり、参加者の方々が徐々にお見えになりました。そして、定刻の13:30より電気安全講習会が始まりました。

最初に山形県支部の田中支部長より挨拶をいただき、以下の内容で講習会を行いました。

1. 電気設備の概要及びトラブル事例について
2. 電気器具の安全な使い方について  
(DVD上映、屋外で実演)
3. PCBについて(内藤環境管理(株)様)



(田中支部長の挨拶)

詳細は割愛させていただきますが、参加者の方々より書いていただいたアンケートの結果、おおむね好評価をいただき、成功裏に終わることができました。特に、『2.電気器具の安全な使い方について』の屋外での実演講習がとても良かったとの意見が多く、喜ばしかったです。

さまざまな問題がありましたが、無事終わることができて安堵しています。



(名司会者)

## 【最後に】

今回この講習会を開催するにあたり、田中支部長と本部広報委員の栗田浩二さんからは、遠いところ庄内まで来ていただきましてありがとうございました。

また、参加していただいた庄内地区の会員の方々には、いろいろと相談に乗っていただき大変助かりました。ありがとうございました。

## 新会員のご挨拶

### 「令和第1号正会員です。よろしくお願ひします！」

山形地区 会員番号 931 鈴木 敏明

私は、地元の自動車部品工場で30年電気主任技術者として勤務してきました。定年後1年延長し、平成31年3月末日に退職しました。

その後保安監督部へ申請となるのですが、申請後承認まで1ヶ月はかかるとのことで、業務開始は5月1日からとなりました。

ただ、5月1日からは新元号になります。新しい元号は、4月1日菅官房長官の発表にて、「令和」に決まりました。

その後1件目の委託契約書を作成し印をもらい、年度始めで混んでいた保安監督部の面接が4月18日になり、4月25日に承認をもらいました。関係各位の協力を得て、令和元年5月14日に令和第1号の正会員になりました。申請に際し関係各位の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

数十年前、主任技術者に選任された頃は、右も左も分からず相談する人もいませんでした。その後いろいろありまして、協会の正会員のMさんとの出会いがあり、年次点検を依頼するようになりました。年齢を感じさせない点検時の機敏な動作、高度な知識には感心しました。

また趣味として年に数回ほど、旅行で景勝地などの写真を撮っていました。定年後は無理かなと思っていましたが、懇親会でのお話や会報やブログで国内外旅行の記事を拝見し、いつまでも元気な皆様を見ては、私も同じようになりたいなと当協会への入会を決断しました。

経歴は、工業高校を昭和51年に卒業し地元のミシン部品製造会社に入社し、通称電気屋さんと呼ばれ上司と2名で従事しました。生産設備の修理、専用機の製作などに携わり、入社当時は図面を焼いてといわれ青焼きとは分からず、なぜ図面を燃やすのかと思ったものです。

昭和57年に3種の免状を取得し主任技術者になりましたが、諸事情で1年半ほど別な所で修行し、その間の主任技術者はMさんがや

られていました。縁があり再び元の会社に戻りMさんと会うことができました。電気担当者として接し、いろいろと教えていただきました。契約電力が500kWを超えたので再び私が主任技術者になり、Mさんには年次点検をお願いしていました。

その後生産品目が自動車部品となり、本社移転、工場増設F3~F11(9棟増築)、また自家発電1,500kWを設置(1年半)などがあり、契約も最大1,950kWまでになり、主任技術者として30年、エネルギー管理員など歴任しました。

令和元年5月に正会員になって、これからどうやったら良いか思案中のところ、本部・支部の研修会や先輩会員からの暖かいご支援をいただき感謝申し上げます。仕事上いつお呼びがかかるか毎日ドキドキで、毎年行っていた旅行も行く気にもなれず、そんなことを先輩方に話したら、「いつでも代わりに行くから行ってきて下さい」との言葉に安堵し、更に感謝・感謝です。

また、以前会社で倫理法人会の『万人幸福の栞』を毎週輪読していました。その中の「10、働きは最上の喜び 勤労歓喜」の内容は、なるほどと思うことがいっぱいです。

「人が生きているというのは、働くことである。働く喜びこそ、生きている喜びである。」  
男性の平均寿命は81.25歳、仕事をしなければ健康寿命も延びません。元気で生きていくには、仕事が一番です。以前Mさんから「謙虚に、責任を持って仕事をする。」とのアドバイスもいただき、仕事に活かしていきます。

まだまだ未熟者ではございますが、電気管理技術者として一步一步進んでいきますので、今後とも、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願ひします。

# 「偶然の出会い」

鶴岡地区 会員番号 934 板垣 清

まずは、私を育ててくれた両親の話です。小・中学校の頃の印象です。

父親は土建屋で、主に商店の土間や住宅の基礎コンクリートの仕事など、細い体で頑張っていました。母親は農家の出身で、田植えや稲刈りの手伝い、材木屋のチップ運び、畳屋のワラ運び、そして合間に畑仕事と、一生懸命でした。

私が高校受験に合格した時や、地元の会社に就職が決まった時などは、大変喜んでくれました。

私は工業高校の電気科を卒業後、S46年4月1日、庄内くみあい飼料（株）に入社し、畜産飼料の製造部門の保全係に配属、上司は電気主任技術者F氏で、（株）鉄興社酒田大浜工場から出向された方でした。

F氏指導の下、変電設備日誌に高圧受電盤と低圧配電盤の計器を記録し、高圧機器の目視点検を行いました。次に工場内の電機設備を、（株）東北電機鉄工から派遣された1名の指導を受けながら、点検と補修作業を行っていました。

S51年8月1日にF氏の転出により、新しい電気主任技術者S氏の指導の下、引続き代務者として保安規程に基づき、電気工作物の点検管理業務に従事しており、S52年2月15日実務経歴により電検3種免状を取得しました。

以下、主な業務経歴を紹介します。

OS50年4月

デマンド監視装置を設置

契約電力 1,150kW、高圧電圧 6.6kV にて、  
（株）東北電力酒田北変電所港線より給電

OS52年

低圧ダクト内で IV 線のネズミ被害が多く、  
ケーブルラックに交換

OS56年3月～H9年8月

9回の変更届出書を提出し順次契約電力を  
引下げ（1,150KW～630KW）

OS60年3月

高圧ケーブル交換

OS61年3月

柱上油入開閉器を撤去し気中開閉器に更新、  
海岸沿いで接地抵抗値が不安定なため、銅板  
と電極棒の埋設工事を行い、各種の接地抵抗  
を改善

OH9年10月1日

東北6県7工場の合併に伴う社名変更とS  
氏の転出により、北日本くみあい飼料（株）  
酒田工場の新電気主任技術者に私が専任さ  
れ、保安規程や技術基準に基づき、電気工作  
物の運転、監視、点検、保安管理業務、工事  
監督業務に従事

OH9年11月

電気関係官庁へ電気主任技術者専任届出と  
保安規定を届出、電力会社の契約電力を  
630KW から 600KW に引下げの変更を届出

OH10年12月10日

停電事故が発生、高圧電路銅板の下にネズミ  
発見、気中開閉器動作のため東北電機鉄工に  
連絡し現場にて相談の結果、ネズミによる相  
間短絡と判断、上司に報告し了解得て対策を  
実施。電気関係官庁に認可申請後、H11年1  
月銅板を絶縁体で仕切り、油入遮断器撤去、  
真空遮断器に更新

OH12年3月

東北電機鉄工（株）にて高圧ケーブル交換、  
年次点検を東北電気保安協会に依頼

OH14年9月30日～

電気主任技術者として5年間従事した後転  
勤し、山形工場と石巻工場にて生産と出荷部  
門に所属、その後地元の庄内営業所にて勤務  
した。正社員42年間60歳で定年、嘱託と  
して5年間勤め、65歳で就業を満了

H30年4月1日に、地元の<sup>ほうだし</sup>文下公民館にお  
いて八幡神社「春の大祭」が行われ、たまたま  
偶然にも、私の隣にいた方が備里川さんでした。  
板垣 「何かいい仕事ねがや？」

備里川「会社はどこだったのや？」

板垣「庄内くみあい飼料。」

備里川「そこで何してきたや？」

板垣「牛豚鶏のえさ造ってる会社で電気を少々。」

備里川「おれは東北電気管理技術者協会の会員だ。わかるか？」

板垣「保安協会だばわかるけど、あまり聞いたことねえな。」

備里川「3種の免状は持ってるか」

板垣「ある」

備里川「5年の経験は？」

板垣「ある」

備里川「スマホ・パソコン・インターネットは使えるか」

板垣「物ねえし、できません」

備里川「まあ、あとで、家に来てみれ」と言う話をして、その日は終わりました。

退職して第二の仕事として、電気の資格を生かし専門にやっていきたいという、強い思いがありました。

4月中旬にハローワークに用事があり、OA講座パソコン教室3ヶ月コース(費用はテキスト代のみ)を見て、さっそく申込みことにしました。5月に履歴書を提出し面接に合格、6月～8月、1ヶ月はテキストに従って学習、2ヶ月目からテストが始まりました。いつも追テストで、キーボード練習は指がうまく動かず大変でした。事務所で代表の先生からガンバレと激励応援をいただきながらの、居残り個人指導でした。なんとか追テストも終わり、8月には無事に閉所式を迎えました。

支援訓練修了証と皆勤賞をいただき、さっそく備里川さんに報告に伺いました。5ヶ月も来なかったのが辞めたと思ったと言われました。

数日後県支部長に会いに行くと連絡があり、当日9月6日、履歴書と推薦状を持って2人で出かけました。そこでは初対面の大久保さんとも会いました。経歴証明書は？と支部長に言われましたが、その日は持参しておらず、後日協会に直接提出することになりました。

9月11日備里川さん、宅井さん、大久保さんと私が協会本部で一緒になり、事務局の気仙さんの説明を受け経歴証明書を提出しました。

大久保さんは優秀な方で、2ヶ月後には正会員になりました。

私は気仙さんに、経済産業省への証明書として電気主任技術者の実務経歴証明書を作るよう指導され、27ページにも及ぶ書類を事実に基づいて書くことになりました。

何度も下書きをしてパソコンに打ち直し、途中何度もつまずき、1日1行しか進まない日もありました。又、

「FAX・スマホ・インターネットなしで仕事ができますか？」

と何度も問われ、まずFAXは設置しました。説明書を見て使えるまで何日もかかりました。4ヶ月過ぎ年が明けて、スマホも買いメールアドレスも作ったのですが、操作を覚えるまではまた何日もかかりました。

経歴証明書27ページと、保安規程の不備なところを修正し書類を郵送しました。2月末には内容の不備なところを修正し、15ページ位で再提出するよう指導いただき4月に提出。初回申請の事業場も指導していただき5月に郵送しました。

6月19日に面接を受け、6月28日に承認されたことを、協会本部の早坂さんより連絡を受けました。

紹介状へは地区幹事の宅井さんの印、そして県支部長田中均さんの印をいただき、また正会員入会申込み書には県支部長の印をいただき、7月8日提出、令和元年7月11日付で正会員番号934の、会員証が届きました。

東北電気管理技術者協会事務局、気仙隆之さんには10ヶ月もの間、大変ご苦勞をおかけしました。在任中最後に間に合うようにと指導をいただき、ありがとうございました。

備里川さんと出会い1年3ヶ月、県支部長の田中均さんと出会い1年、そして山田さん宅井さん石井さん他、鶴岡地区の会員方々のご指導ありがとうございました。67歳の新会員、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



## 「大人の休日倶楽部」第4回 鎌倉・水戸偕楽園への旅

酒田地区 会員番号 209 本間 隆

平成 21 年 2 月 16 日(月)

往きはレイチェル（妻）と別行動のため、私だけ朝一番の電車で上京。

所用も一段落し、14：00 頃にレイチェルの携帯に電話したら、

たかし君 「もしもし？」

レイチェル(?) 「はいはい」

声の様子がどうもおかしい。娘(長女)の声だ。

娘は確か今日の 3 便で庄内空港から帰京する予定で、この時間は飛行機のなかのはず。

とっさにひらめいたのが

たかし君 「欠航したのか？」

娘 「うん、大当たり」

というわけでレイチェルと娘と 11 ヶ月の孫はいま、電車で東京に移動中でありませぬ。

私の所用も 16：00 頃にはすべて終わり、御茶ノ水の地下にデンマークカフェという喫茶店があったので、そこでホワイトチョコ入りコーヒーを注文して休んでおりました。

なに、一度も飲んだことがなかった物珍しさからであります。

感想は、別に頼むまでのものではありませんでした。カフェラテとかそういう類のもので、カップの底にホワイトチョコレートが沈んでいるだけと考えて下さい。

上野駅で待ち合わせする予定でしたが、到着時刻の 19：04 までは時間があきすぎ、大宮まで迎えに行くことにしました。私は大宮駅で乗り込み、上野までの短い間でしたが、孫とは初めての電車の旅です。我が家にいたころは人見知りをして泣いてばかりいた孫も、今はニコニコしてあっちこっちの人達に愛想をふりまいております。誰に似たのだろう。

上野駅周辺には小さい子供が入れる店が意外と少なく、駅構内の 2 階にあったレストランで夕食です。孫もひとり分の座席を確保してもらい、上機嫌です。

上野駅で孫と別れて私たちは横浜に向かいます。学生時代にお世話になった大家さんに泊めてもらうことにしておったのです。

レイチェルはよその家には泊まりたがらず、初めての体験です。

卒業してから 40 年近くたった今でもお互い行き来があります。

大家さんの孫はよくわが家に遊びに来てくれますが、まるで息子が増えたみたいな感じで、違和感なくスッと入ってきてくれます。

上野から新杉田まで京浜東北線を使い、そこからはシーサイドラインに乗り換え、無人運転の電車で『シーパラダイス八景島』を眺めながら野島公園前にて下車、歩くこと 4 分で到着。

横浜には色々な思い出があります。

実は学生時代、お付き合いする人を選ばなかった時に、オカマちゃん（今で言うニューハーフ？）に見初められて、足しげく自室に遊びに来られました。

オカマの店が終わる夜中の 24：00 近くになると、よく冷えたビール 6 本と鮎折 2 人前を毎回持って、

「たかしさんいらっしゃる？わ・た・く・し・よ！」

と言って訪ねてくるのです。

次第に恐怖と嫌気がさしてきたので、アパートの住人 7 人に相談したのですが、なにせ 1 年生は私ひとりであとは全て上級生、全員が酒と食べ物に飢えている人たちです。

野球部の 4 年生の先輩が言いました、

「なっ！お前。お前が少し我慢してくれたら俺たちは残った鮎と酒にありつける。何かあったら大きな声を出せ！俺たちが助けに行くから」

と。な～に、私が大きな声で助けを求めても「やられてる、やられてる」

と言って、助けになんか来もせず楽しんでい

るくせに。

実はニューハーフといっても華奢な身体とはかけはなれ、図体は大相撲の小錦くらいの巨体で、か弱さはありません。押さえつけられたらそれで『お・し・ま・い』です。

一度一緒に風呂に入る機会があったので、彼の〇〇〇を見たら赤ん坊のように極端に小さく、これは機能的にも女性ではないかと思われました。いわゆる性同一性障害です。それでも脛毛も髭も生え、喉仏もあるのですよ。

大家さんもこのことを知っており

「たかし君って、あんな趣味があったの？」と話しておったそうです。

でも彼(?)には悪い思い出ばかりではありません。夜中にオカマ仲間の運転する車で、詩人サトーハチローが経営しているという鎌倉の店に連れて行ってもらい、その当時まだ珍しかったピザをご馳走になったりもしました。

異国イタリアの本格的な食文化に初めて触れた瞬間で、世の中にこんな美味しいものがあったのかと感動したのを覚えております。

しかしこの大家のおばさんも今は80歳をチョッと過ぎ、実家は山梨で、武田信玄の末裔だそう。また代々明治屋食品の大株主であり、旦那様はその役員で人事部長でした。どおりで少し品があります。

ひろみというひとり娘(今でも我が家に遊びに来る孫の母親)がおり、私が婿養子になれる立場であることを知ると、扱いが全然違ってきて、同じアパート生からは「扱いが違う!」と不満を言われるくらいでした。

昔から変わらない天然ぼけでして、こんなエピソードもありました。

彼女は大のミステリードラマ好きなので、1日に2時間ドラマを2本見るのですが

「今日は3人しか死ななくてつまらなかったわ」

とか、山梨の甥子が警察署長になったので

「おばさん、署長室を見せてあげるから一度遊びに来てください」

の招待に対して、

「行かなくてもいいわよ!私は毎日(テレビで)みているから」

と返事をしたり、巨人の大ファンで、負けたりすると

「違うチャンネル回してみて!そっちだったら勝っているかもしれないから」

とか、負け試合で投手の桑田が投げている時に電話がかかってきたりすると、相手の名前はスッポリ抜けていて

「桑田さんからお電話よ!桑田、桑田よ!」と家人に声を荒げて、取り次いだりするのです。

極め付きは病院での話。かなりの洒落人で、綺麗に化粧をしてマニキュアまでして手術に臨んだことがあり、看護師さんからとがめられたら

「いいの、いいの」

と返事を返したそうです。

「あなたは良くて先生が困るのです」

と叱られて、看護師たちは病院中マニキュア落としを探しまわったそうです。

2月17日(火)

翌朝、大家の娘ひろみ(私の妹みたいな存在、青山学院大学法学部卒の才媛であります、色々事情がありなぜだか整体師をやっております。それがまた良く効くのです。)に8:00から整体治療をしてもらい、朝ごはんをご馳走になってから今日の予定地鎌倉へ向います。

この時も母娘別々に私たちに出すコーヒーを作っていました。娘のボケはDNA?

鎌倉駅で降りて駅の裏通りを歩いていたら婦人物の洋品店があり、バーゲンとのこと。ひとしきり買い終えたら店主が、つり銭がないと言い始めました。帰りに寄ってくれないかと言われて寄ったら、更に割引になっていたのにはビックリ。レイチェルはまたまた買いこんでみました。店主が言うには

「明日からはこの値段では出せない。私ではなく店員さんが来るから」

とのこと。どうやら至急に今日、お金が欲しい事情があるらしい。

駅前に貸し自転車がありました。酒田と違い有料みたいで、それが結構高いのです。電動自転車も置いてありましたが、これだったらバスの方が楽だと考え、バス（190円）で報国寺に向かいます。

鎌倉の報国寺。ここは先日テレビで放映されており、なかなか落ち着きのある感じで、建長寺とあわせて今回の旅行には初めから織り込んでおったところでした。

#### 報国寺

臨済宗建長寺派の禅宗寺院。この寺は、淨妙寺中興の足利貞氏の父・家時（足利尊氏の祖父）が開基。夢想国師の兄弟子・天岸慧広（仏乗禅師）の開山で建武元年（1334年）の創建。永享の乱（1439年）に起きた足利持氏の室町幕府将軍・足利義教への反乱で関東公方・足利持氏は敗退し、永安寺で自刃した時、その長子・義久もこの寺に入って自刃した悲劇の寺である。古くから境内は孟宗の竹林で知られている。三門をくぐり右側の石段を登ると本尊の釈迦如来坐像が祀られている本堂がある。本堂の右手に迦葉堂、左手にかやぶきの鐘楼がある。数多くの文化財があるが、殆どは現在、鎌倉国宝館に所蔵されている。本尊は釈迦如来（市重文）。

山門近くの入り口で300円の入場料と茶席の料金600円を払い、なかに入ると鬱蒼とした竹林が広がり、別世界に来た感じで太い竹の中から「かぐや姫」が出てきそうです。

京都、嵐山にある天龍寺の近くの竹林も見事です。スケールではこちらのほうがかなり小さいのですが、絵になるのはこちらです。

ここにいると色々な夢を見ることができるからです。よくよく考えてみると天龍寺の近くの竹林は内部に入ることはできませんが、ここは竹林の奥深くまで入れることの違いがあります。

更に奥に進み茶室（といっても野立て？）で一服。しかしお茶うけは干菓子でした。

京都二条城の茶店の生菓子とは違います。

天気も良く、実にゆったりした時間が流れました。



報国寺 竹林の茶室にて

そこからバスで建長寺に向いますが直通的なバスがないので鎌倉八幡宮前で下車です。

久しぶりの八幡宮は相変わらずの賑わいです。

寒牡丹まつりをやっておりました。

鑑賞のしかたにもよるのですが、私たちにとっては期待して入るほど綺麗ではないという以前の体験から、そこはパス。

公暁が三代将軍『源実朝』を倒したという大銀杏の前で記念写真をパチリ。



鎌倉八幡宮 大銀杏の前にて

そこから歩いて10分ほどで閻魔寺（円応寺）の案内があったので参詣。閻魔像そのものは大きいとはいえませんが、なかなか迫力のある閻魔様を拝観して、建長寺へ。

#### 建長寺

鎌倉五山第一位の臨済宗建長寺派の大本山。建長5年（1253年）北条時頼が蘭溪道隆らんけいどうりゅうを開山とし

て創建した、わが国最初の禅の専門道場。最盛期には塔頭が49院あったが火災により焼失。現存する建物は江戸時代以降に再建または移建されたものである。総門、三門、仏殿と一直線に並ぶ伽藍の周囲を10の塔頭寺院が取り囲む。寺宝も豊富で木造漆塗りの須弥壇、木造北条時頼坐像などの国の重要文化財がある。

絵画、書の優品も多数。境内は史跡。

なかに入ると広くゆったりしており、京都や奈良にみられる神社仏閣内の人ごみや喧騒はありません。プチハイキングコースとしても有名みたいです。

ここの奥にある建物の仏殿(芝(東京都港区)の増上寺にあった、徳川秀忠夫人崇源院の<sup>たまや</sup>霊屋を建て替える際に、譲渡されたもので、正保4年(1647年)に建長寺に移築されている)の上がり段のところで、私だけ優雅な午睡をとりました。その間レイチェルはあちらこちらを覗いてまわったそうですが、肝心なところになると『ここより立ち入り禁止』となり、思うように観ることができなかったとのこと。

さて、お昼はまだなので飲茶でもと思い、そこから久しぶりに中華街に向います。

石川町駅で降り歩くこと5分、中華街の入り口につきます。



横浜中華街の入口にて

入ったところは<sup>ひんげんろう</sup>聘珍樓。実はここは、料理は美味しいのですが、給仕の態度が悪いので敬遠しておった店でした。しかし他に気の利いた飲

茶の店が見つからなかったのです。

20年くらい前に食べた海鮮と牛筋のお粥がそれぞれ感動的に美味しかったので、それ以来、ホテルに泊まっても朝ご飯は聘珍樓で摂ることにしていました。

しかし、すぐに売り切れとなるので朝一番に並んで入ったのですが、注文を忘れられ食べそこねた悔しさと、その時受けた対応の悪さで敬遠しておったのです。

あとから入ってきた客には出しているのに、先に注文したのになぜ来ないのかを問うたら泣き始め、それを見ていた先輩給仕に睨みつけられた覚えがあります。

女性給仕は台湾出身がほとんどみたいで、日本語もろくすっぽ分らないうちからホールに出す、この店の経営姿勢も問題ですが、これは横浜中華街全体に言えることで、注文は番号であることを肝に銘じました。

さて聘珍樓。ここに入ったのは何年ぶりでしょうか。お粥は近くの『安記』というところが有名なのでよく行くのですが、聘珍樓ほどの美味さはありません。

ところが今回は、メニューをみたらお粥があるのです。

「これは朝で売り切れではないのですか？」と訊ねたら

「何年前にいらっしゃいました？」

逆に訊かれ

「いや、もう20年くらい前になります」と答えたら、時代が違うようなことをやんわりと言われました。揚げ飲茶3品、蒸し飲茶3品、それとお粥に杏仁豆腐で1,980円です。以前では考えられない安い価格設定です。

やはりここ聘珍樓のお粥は美味しいと思いましたが、ただ、飲茶を食べる時に洋辛子がなかったのでリクエストをしたら、飲茶は本来味がついているからそのまま食べるものと、男性の給仕に教えられました。しかし辛子は持ってきてくれて付けて食べましたが、なるほど付けない方が美味しいと感じました。しかしそれでも何かが足りません。もしかして私の舌が麻痺しているのかもしれない。でもレイチェルも同じ

ようなことを言っていたぞ。

洗練された味の飲茶を食べ終えて、今夜の宿泊先である義兄宅に向います。横浜駅から池袋まで今は埼京線があり、横浜の次は大崎に止まり恵比寿、渋谷、新宿、池袋と40分くらいで着きました。実に早くなりました。

ひょっとして東横線を使うよりも早いのではないのでしょうか？

池袋から西武線で義兄宅に到着。そこでその近くに住んでいる昨日別れた孫と再会し、酒田から送っておいだ庄内黒豚（三元豚？）での豪華晩餐会です。孫ももう人見知りせずおとなしくしております。

酔いもまわり、就寝です。

2月18日(水)

今日は朝6:00に起き、水戸の偕楽園に向います。保谷駅から上野駅まで約1時間で到着。

予約してあった9:00の特急から予定を早めて8:30に変更。そこから1時間20分で水戸駅に到着。駅前には水戸光圀と格さん助さんの新しい銅像がありました。



水戸駅前 水戸黄門像にて

駅前にバスがいっぱい並んでいるのですが、偕楽園にはどうやって行くのだろう。

レイチェルは電車が水戸駅に到着する手前に見えたと言っています。

さっそく見知らぬ土地の道案内、タクシーに乗って現地まで連れて行っていただきました。

70歳位くらいの吉澤さん。なかなかの教養

人です。水戸の歴史のあれこれを話していただき10分くらいで偕楽園東門に到着。標準の見学時間は40分ということですが、時間は気にしないでいいから見学を終わるのをここで待っているとのこと。

不況らしく、駅で客待ちをしているより確実に客を確保できるからみたいです。次は水戸藩校、弘道館に行きたいという私たちの話を聞き逃してなかったみたいです。しかし正解でした。偕楽園から弘道館まではバスの便が悪いみたいでしたし、歩いていける距離ではありません。私たちが旅先で歩いて行ける距離は10分以内の距離をさします。見知らぬ土地の案内は、吉澤さんのような親切な運転手さんをお願いするのが一番です。

#### 偕楽園

偕楽園は金沢の兼六園、岡山の後楽園とならぶ「日本三名園」のひとつで、天保13年(1842年)に水戸藩第九代藩主徳川斉昭によって造園されました。斉昭は、千波湖に臨む七面山を切り開き、領内の民と偕に楽しむ場にしたいと願い、「偕楽園」をつくりました。約13haの園内には約百品種・三千本の梅が植えられ、早春には観梅客でにぎわいます。

偕楽園は梅の名所として有名ですが、その他にも四季折々の見所があり、春には桜、初夏には深紅のクリスマスツツジ、真夏には緑あざやかな孟宗竹や杉林、秋には可憐な萩の花やモミジが見られます。これらを通して眼下に広がる千波湖を望む景観は絶景の一言です。また、偕楽園の眼下に拡張した新しい公園は、梅を中心とした田鶴鳴、猩々、窈窕の各梅林、芝生広場の四季の原、水鳥たちが遊ぶ月池などが点在し、広大な風景をゆったりと楽しめます。

東門から中に入ると木立の低い(もともと梅は木立が低いのですが)梅林が広がります。

まだ3分咲き程度で、密集した花の美しさはありません。でもほのかに梅の匂いが漂っています。春の匂いかな。私は密集した花を観るのが好きですが、梅に限っては一本の木から流れる枝から咲き乱れる花を観るのが好きです。

私は、趣味のオルガンの作業場から観る隣家の梅に、毎年春を感じさせられます。



水戸偕楽園 入口にて

さらに進んで好文亭に入ります。

好文亭は徳川斉昭公により、偕楽園内に休憩所として建てられたもので、素剛優雅な外観は水戸武士の風格がただよう建築です。この名は梅の異名『好文木』に由来し、その三階の楽寿楼からの眺望は見事です。

とパンフレットにありますが、咲いている梅はまだ少ないためか、その感動はあまりありません。庭内を散策して御成門に向いますが、途中で竹林がありました。

これは先にお話した天龍寺の近くの竹林を思い出させる風景です。良く似ています。おそらく二度と訪れることはないであろう偕楽園をあとに、弘道館に向かいます。

これは、自身も旅したことがある運転手の吉澤さんも話していたのですが、日本三名園（岡山後楽園、金沢兼六園、偕楽園）のなかでは一番見劣りがすると思います。

私の一番のお勧めは岡山の後楽園です。

#### 弘道館

弘道館は明治維新の際、水戸藩では改革派(天狗党)と保守派(諸生党)が激しく争い、弘道館もその舞台となった。1868年には会津戦争で敗走した諸生党が水戸に舞い戻り、弘道館に立てこもる事態となり多くの建物が銃砲撃により焼失した(弘道館戦争)。1872年(明治5年)12月8日に閉鎖され、その後は太政官布告により公園とされた。

とパンフレットにあります。

いわゆるどこにでも見られる藩校で特別なものは感じることはありませんでした。

ここでも吉澤さんが、待っていますと話されましたが駅までわずか5分、ここでお別れしました。ぶらぶら歩きながら駅にむかいます。ちょうどお昼時、お腹がすきました。水戸の名物や郷土料理は何かと色々調べましたが見つかりません。途中にあったホテルに入りました。安いのにボリュームはあるのですが、あまり美味しくありません。でも特別にコーヒーを出してくれました。最初についてくれた給仕さんが、

「後ほどサービスでコーヒーを出します」と約束してくれて期待しておりました。しかし途中で他の人に交代しましたので諦めておったところ、その人も

「特別サービスです」

と言ってコーヒーを出してくれました。水戸の人はみんな親切です。ありがとう。

レイチェルと、昼から生ビールのジョッキで乾杯をしているところの写真まで撮ってもらいました。(席が空いてなかったので10人くらい入れる個室に案内されました)



お昼から かんぱ〜い！

水戸駅から上野に向かい、15:00の新幹線まで1時間半ほどあります。中途半端な時間なので西洋美術館の前の彫像を観て時間を過ごしました。普段は素通りする場所でしたが、不思議なほど充実した時間を過ごしました。

ここで帰宅の途につきます。



健康法やリフレッシュ法などを紹介して頂くコーナーです

## 『 走 る 』

酒田地区 会員番号 913 高橋 良

25年以上続けて、いつの間にか習慣化していることがあります。人によっては運動が苦手という方もおり、「元気のみなもと」としてテーマに取り上げて良いのか迷うところですが、ストレス解消法は十人十色、人それぞれ違うのです。

週2回程度、約5～10kmを30分～1時間ほどかけて走ります。降雨の天候以外はウエアーが濡れないので、おかまいなく外に飛び出していきます。走るコースは、冬期を除く季節には近くの河川（新井田川）沿いの堤防と農道を、冬期は国道（7号線）沿いの歩道を主として活用しますが、気分を変えて、酒田共同火力発電所のある周辺を、日本海と風力発電のプロペラを横目にしながら走ったりすることもあります。



さて、河川沿道は単調な割に四季折々の姿があって、空気の匂いや景色も変わっていきます。次の写真（川の向こう側）は初秋の田んぼで、収穫前の稲穂が一面金色？に輝いているようです。



そして、稲刈りが終わると切株が整然と残り、来季を待つ殺風景な風景へと変わっていきませんが、秋も深まる11月頃、遠くに鳥海山の冠雪が見られるといよいよ冬の到来です。晩秋の堤防を走ると、餌を求めて飛来してきた白鳥の群れを、時々見かける時もあります。



冬期は北風が吹く日だと頬が痛くなるのと、シューズが雪に埋もれて足が冷たくなるので、国道沿いの歩道に変更です。積雪が少なく北風も幾分弱まるコースのためか、自分と似たランナーによく出会うのですが、往来する車の騒音や排気ガスで好環境にはほど遠く、慣れた河川

治道を走れるようになる春が待ち遠しくなります。

春と言えば、写真はありませんが、田植えが始まる5月頃、鳥海山の山肌に誰が名付けたか『種まき爺さん』の雪形が出現します。『種まき婆さん』という人もいますが、これは見る人の捉え方の違いでしょう。雪解けが進み、その爺さんの姿が消えると夏がやってきます。

夏は、5月に植えた稲苗が成長しぐんぐんと大きく伸びる時期で、引いた水と照り付ける太陽光線を存分に吸収して、稲花を咲かせ稲穂へと成長すると、また一面が金色？に輝く景色になる秋がやってきます。

平凡で単調な田園の四季の移り変わりを感じながら走る、ただそれだけで気分転換になりリフレッシュできるのですから、きっと脳みそが単細胞なのかもしれません。

こんなこともありました。

ガラケーが落ちていました。放っておけばよいものを警察署に落とし物として届出たところ、住所、氏名、電話番号などを書かせられるわ、拾った場所を説明させられるわで、事情聴取をされた気分。おまけに

「持ち主に対して何かある？」

「……ん？」

善意での行為なので何にもないよ！

また、何年前だか、一羽の白鳥が北帰行から外れて(送電線に接触したか？片方の羽根がおかしい)川面をさまよっていました。近づくと逃げていくので何もしてあげられなかったのですが、数日後様子を見にいったら居なくなっていました。あの白鳥はいったいどうなったのだろうと、気になってしかたありません。



実を言うと、走ることが好きで続けてきたわけではないのです。きっかけは入院でした。不規則な生活とたばこの吸い過ぎ(当時は1日2箱)から寝不足がたたって、悲鳴を上げたのが胃袋だったのです。もともと胃弱だったことも重なり、最もストレスに敏感な部位が警報を発したのでしょう。以来、たばこはやめ生活習慣を見直すことにしました。そこで取り入れたのが『走る』ことです。

スポーツが好きなので難なく入っていましたが、学校を卒業してからは運動から遠ざかっていたため、走っていて苦しくなり長続きするだろうかと気落ちしたのを覚えています。しかし、ここまで続けているのは、入院によって受けたダメージの大きさがトラウマとなって残り、健康であることのありがたさを痛感したからにほかなりません。

走ることでその日のからだのコンディションがわかるため、体調の変化に気付くこともあります。

何歳まで「走る」つもりだと問われれば、何歳まで「働く」つもりだと問われるのと同じで、どちらも健康でなくてはできません。

今の仕事を長く続けるために、皆さんもきっと「元気のみなもと」を秘めて持っているに違いありません。



# 私の こだわり自慢

仕事上の工夫やこだわり、プライベートの趣味などを紹介して頂くコーナーです

## ～ 私のこだわり ～

新庄地区 会員番号 840 佐藤 信也

私のこだわりと題名をつけましたが、私はこだわりのない人間だと思っております。趣味のツーリング（写真1・2）も、現状では子育てが忙しく、何も手につきません。休みの日と言えば、子供のスポ少の応援か自宅の薪ストーブ用の薪作り（写真3・4）、または家族で買い物に行くことで終わってしまいます。



写真3 薪ストーブ



写真1 1,584cc



写真4 薪



写真2 50cc

そこで、こだわりというか、大事にしていることを今回紹介しようと思います。

私の最終学歴は、東京電子専門学校電気工学科（2年制）です。そこで電気の勉強をさせていただき、在学中に第2種電気工事士を取得、第1種電気工事士は筆記試験を合格、電験3種は3科目だけ合格し、卒業後残り1

科目合格して取得しました。

その前歴はというと、国土館大学文学部史学地理学科国史学専攻に在学しており、奈良平安時代などの遺跡の発掘調査の実習を行っていました。つまり、完全に文系の人間でした。

そこからなぜ電気の世界に飛び込んだかという詳細は割愛させていただきますが、この業界ではかなり異端な存在であると思います。

そんな私がこの業界で生活していくには、現場で勉強することも勿論大切ですが、バックボーンとしての、知識が必要となります。専門学校での知識は基礎知識ではありますが、現場で100%活かせる知識であるかは疑問が残ります。

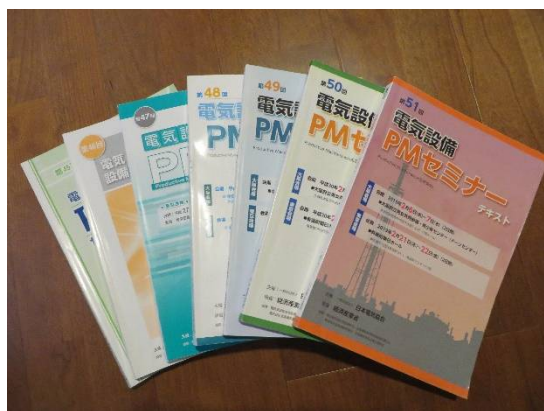


写真5 PMセミナー資料

山形に戻ってしばらくした時に、「電気設備 PM セミナー (写真5)」というものが毎年2月に大阪と東京で開催されていることを知りました。その頃は月次点検や年次点検を手伝っていても、いったい何を点検しているのか分かりませんでした。そんな状態でセミナーに行っても正直何を話しているのか理解できないのは分かっていました。しかし、

長い学生生活の経験から、分からなくてもとにかく聞いて、言葉を耳に入れておき、専門用語に慣れる、そして調べる、それが私に合った学習方法だと感じていました。

そしていざ実際に参加してみると、やはり分からないことだらけで眠くなります。しかし、諦めずにここ数年参加し続けています。すると、だんだん理解できる話が増えてきて、少しずつではありますが、バックボーンが厚くなってきた気がしています。

さらに副産物として、PMセミナーで基調講演をされた方が、産業技術総合研究所で太陽光発電モジュールの実証実験をされていて、大変興味深い話を聞くことができました。またそこから、日本太陽エネルギー学会の存在も知ることができ、入会もしました。そこでは、太陽光発電関連のセミナーも開催しており、そのセミナーにも、分からないことが多いながらも参加しています。

そんなこんなでそっちこちのセミナーに参加しているうちに実務で役にたつことができたり、最新技術を知る機会になったりと、大変良い勉強になっています。今回詳しくは紹介しませんが、作業効率化を進めるためにも、行ける時にはなるべく「電設工業展」にも行って、最新の工具・電材・測定器等のチェックも行っています。

今回のまとめとしては、「分からなくてもとにかく聞く、調べる」「諦めずにセミナーに参加し続ける」ということで、現場修行を行いながら、セミナーに参加することを大切にして、これからも続けていこうと思っています。

拙文ではございましたが、以上となります。

# 支部の主な動き

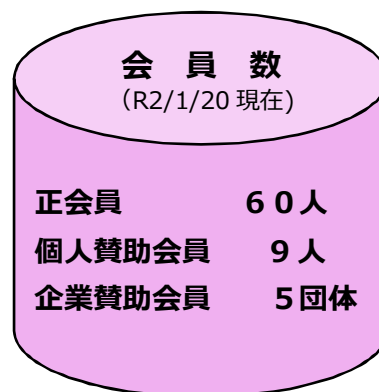
\* 本部の理事会や各委員会などにつきましては、本部発行の会報をご覧ください。

## ～ これまでの経過 ～

区分	名称	日程	場所	備考
県支部	支部だより No.57 発行	R1/7/31(水)	-	
	電気安全講習会	R1/9/12(木)	文化館なの花ホール(三川町)	
	第2回支部役員会	R1/9/30(月)	山形ビッグウイング	
	臨時総会・第3回支部研修会	R1/11/26(火)	あづま荘(天童市)	
		R1/11/27(水)	YONEKI プレミアム(山形市)	
各地区	山形地区 第1回地区研修会	R1/8/28(水)	山形国際ホテル(山形市)	15名
	置賜地区 自家用波及事故防止対策委員会	R1/9/17(火)	東北電力(株) 米沢電力センター	当協会3名
	村山地区 自家用波及事故防止対策委員会	R1/9/25(水)	東北電力(株)山形営業所	当協会2名
	庄内地区 自家用波及事故防止対策委員会	R1/10/17(木)	東北電力(株) 鶴岡電力センター	当協会3名
	置賜地区 第2回地区研修会	R1/10/21(月)	倉寿司(南陽市)	9名
	鶴岡地区 第2回地区研修会	R1/12/9(月)	安兵衛寿し(鶴岡市)	10名
	新庄地区 東北電気保安協会との懇親会	R2/1/16(木)	居酒屋こや(新庄市)	6名

## ～ これからの予定 ～

区分	名称
県支部	第3回支部役員会
各地区	各地区研修会



## ～ 支部会員の動き ～

(敬称略)

区分	地区	氏名	日付
正会員 入会	鶴岡	石塚 岳敏	R1/10/11
個人賛助 入会	置賜(長井市)	高橋 久徳	R1/12/17

## \*\*\*\* あとがき \*\*\*\*

広報委員 栗田 浩二

経験したことがないくらいに雪が少ない冬ですね。私の地元金山町でも、スキー場がオープンできずにいます。仕事は楽で助かりますが、なにか嫌な予感がしてなりません。

支部長のご挨拶にもありましたが、天変地異が止まりません。安心安全な電気使用には悪い影響がないよう、襟元を正して取り組んでいきたいものですね。

そのためにも、こまめな情報収集と、たゆまぬ研鑽を継続することが、とても大切なことだと思います。

## 支部だより No.58

Internet 配信版

令和2年1月20日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会 山形県支部  
〒990-0863

山形市江南四丁目10番14-10号

TEL 023-665-1070

FAX 023-665-1071

Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員 / 栗田 浩二